



地域が つながる



網引(曳)は旧暦の6月25日もしくはその後の日曜日に行われ、「ウフアチ(御初)網」と呼ばれており、地域最大の伝統行事として幸地棚原、呉屋、津花波、小橋川、内間嘉手苺、小那覇、我謝、小波津の10カ所で受け継がれています。綱引(曳)の組分けは「上、東、南、前、古島」などが雄綱、「下、西、北、後、新島」などが雌綱になっています。

各地域で行われる綱引(曳)は、綱自体の作り方、呼び名、関連する祭祀など様々ですが、地域の人々をつなぐ、五穀豊穡や無病息災の願いを込める大切な行事です。

今年も五穀豊穡と地域の繁栄を願って、8月4日(または11日)に町内各地で綱引(曳)が行われました。

太鼓の音が響き渡ると、チムンドンとして出てきた子どもから若者、お年寄りが集まり、白熱した熱気に包まれました。

西原の綱引

8月2日(金)~3日(土) はやく!かっこよく走るぞ! かけっこ教室



運動会シーズンを前に、かっこよく走るコツを学ぶため、西原町の小学生を対象に「かけっこ教室」が西原町民陸上競技場で2日間にわたり開催され、のべ70名が参加しました。

走りのプロである、砂川力也さん(琉球大学教育学部准教授)と琉球大学陸上部員が正しい体の動かし方と速く走るコツを教えました。子どもたちは2日間でグングン上達し、教わる前とは見違えるほど速く走れるようになりました。

また、1日目には管理栄養士の町田貴和子さん(琉球大学農学部技術職員)により、保護者に向けた成長期の子どもに必要な食事についての栄養講座も開かれました。

(株)沖縄伊藤園、沖縄サンポッカ株、沖縄ココ・コーラボトリング株の3社から飲料の協賛がありました。ありがとうございます。

8月6日(火) 池本夢実選手 沖縄初のアジアチャンピオン!

西原町在住の池本夢実さん(28歳)が世界ボクシング機構(WBO)アジア太平洋女子ライトフライ級王座決定戦でKO勝利し、沖縄初の女子アジアチャンピオンに輝きました。

池本さんは琉球大学進学のため出身地である静岡県から西原町に移り、今年で10年目を迎えます。大学時代に琉球ボクシングジムへ入門、2016年にプロデビューし女子ボクサーとして勝利を積み上げてきました。現在は、警察官として勤務しながらボクシングに励み、沖縄初の女子アジア王者を掴み取りました。

池本さんは「アジアチャンピオンはあくまでも通過点。目指すは世界チャンピオンただ一つです」と力強く意気込みを語りました。



世界チャンピオン目指してチバリヨー

文化財コラム 唱えことば

みなさんは沖縄の「唱えことば」を存じですか?
唱えことばとは、一種の「まじないことば」のことで、昔の人々が何か異変があった時、又は夜道を歩く時、或いは屋内、屋外等で行事などを行う時、悪霊を払い、災難をさけるために、生活の中から生み出したものです。

三世帯世帯の家庭では、もしかすると聞いたことがあるかもしれませんが、知らないことばもあるかと思えますのでいくつかご紹介いたします。

- ① **チョーチカ チョーチカ**
地震がおきた時に唱えた。真偽の程はあきらかでないが、昔地震がおきた時浦添の経塚は被害が少なかったことから、経塚をまじないことばにしたという。
- ② **クスクエー**
赤子がくしゃみやをする時は、悪霊が来ているのだということで、母親や傍らにいた人が「クスクエー」と唱えて悪霊を払ったという。
- ③ **アンマーカー トー ター ガン**
ソーランドー
幼児を連れて夜道を行く時は、中指につばをつけてそのひたいにぬり、悪霊や魔性のものから守るという意味で唱えたという。
- ④ **アシヌ ムーク アシヌ ムーク**
昔は部屋を掃くのは朝にすべきで、夜にすべきではないと言われていた。やむをえず掃く時は、「按司の婿が来るから……」と唱えながら掃いたという。
- ⑤ **マサヤー マサヤー ウーティ**
クローヤー ヤー アトウ ナイナー
ナンチチャーメー クイラリンド
子どもなどが、原因不明の食欲不振や不元気などの時、何所かで驚いたために霊魂が落ちたのだとする俗信から、その場所へ行って、霊魂籠の行事をした。その時持っていた子どもの着物にマサヤを招き入れる時に唱えた。

いかがでしょう、聞いたことありませんか?どの「唱えことば」も、愛しいわが子や家族を邪気などから守りたいという当時の人達のやさしい思いが伝わります。

方言はなかなか自然には出てきませんが、その思いは引き継いでいきたいものです。

※西原町史 第四巻 資料編三
西原の民俗より引用

お問い合わせ 文化課 文化財係 ☎098-944-4998